

奈良県保育士キャリア認定制度 について



奈良県健康福祉部こども・女性局
子育て支援課 課長補佐 森田太津子

奈良県の保育の状況

H28.4.1現在	箇所数	利用児童数 (2,3号分)
保育所	178	21,297
認定こども園	30	2,552
地域型保育事業	16	144
合計	224	23,993



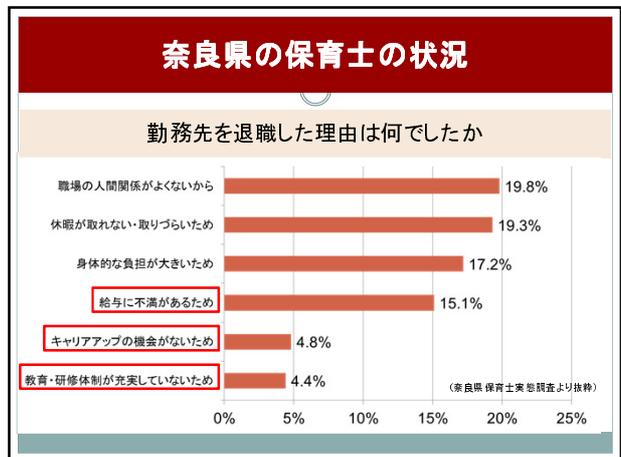
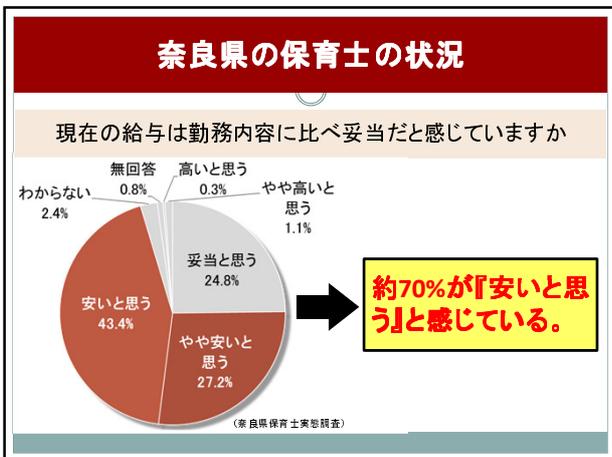
奈良県の保育士の状況

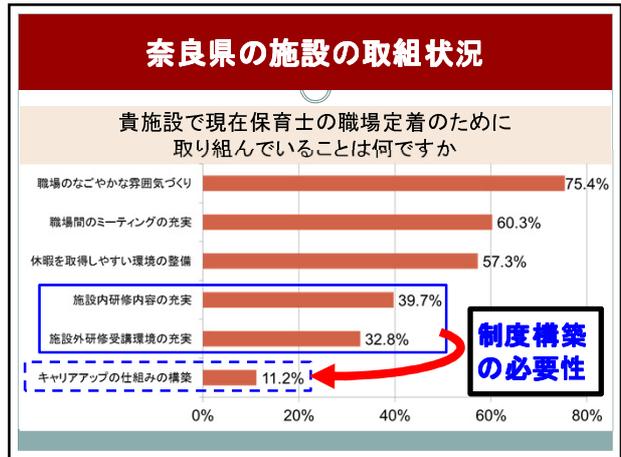
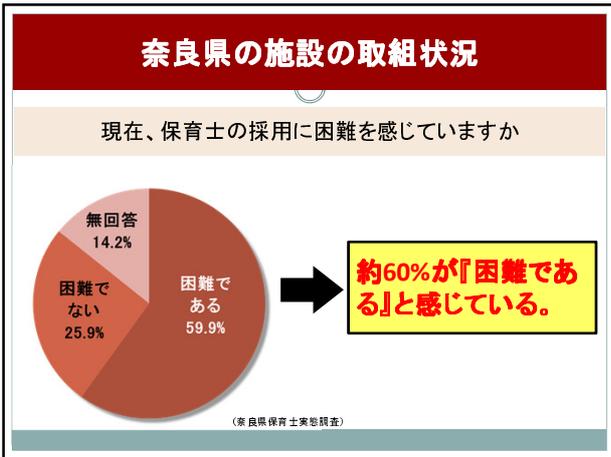
奈良県保育士実態調査(平成25年度実施)

○目的
潜在保育士の実態や就労意向、並びに現任保育士の勤務実態を把握し、保育士の再就職や職場定着等に向けた支援方策を検討するための基礎資料を得る。

○調査対象

- ・ 県内保育士登録者17,260人から6,000人を無作為抽出
- ・ 県内の認可保育所(208施設)及び認可外保育施設(77施設)





奈良県保育士キャリア認定制度の構築

〇現状と課題

「奈良県保育士実態調査」においても、県内の約6割の施設において、保育士の確保が困難であると回答しており、保育ニーズが高まる中で、保育士等子育て人材の確保が喫緊の課題となっている。

奈良県保育士キャリア認定制度の構築

〇目的

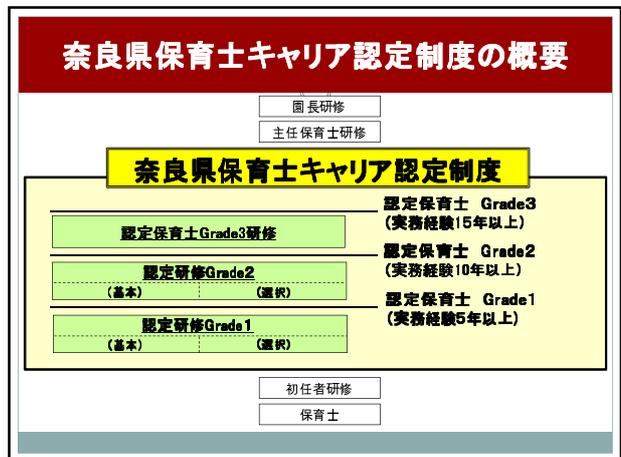
保育士が自らキャリアパスの構築に取り組むことを通じて、自らの目標・理想像を明確にし、仕事に対するモチベーションを向上させることで、保育士の定着促進を図る。

奈良県保育士キャリア認定制度の構築

〇取組内容

①キャリア認定制度の創設
 保育士自らによるキャリアパス構築の支援のため、**実務経験や研修受講を要件に、保育士のキャリアを認定する**制度を創設する。

②体系化された研修の実施
 キャリア認定制度の創設に伴い、県内で行われる保育の各分野の研修について体系化を行い、**県と各保育団体が協働して**、計画的に実施する。



制度構築にあたって

〇工夫した点

研修については、新たに実施するのではなく、それまで県・保育団体がバラバラに実施していた研修を体系化し、**県・保育団体が協働して実施する仕組みとした。**

これまでの研修では、研修受講履歴は記録していなかったが、制度の開設に当たり、**認定研修の受講記録を県で一元的に管理し、参加者が受講履歴を確認できる仕組みとした。**

認定要件

Grade	常勤での実務経験	研修要件
Grade1	5年以上	認定基本研修10科目 認定選択研修5科目 (県・保育団体実施)
Grade2	10年以上	認定基本研修10科目 認定選択研修5科目 (県・保育団体実施)
Grade3	15年以上	認定保育士Grade3研修 10科目(県実施)

認定研修Grade1

No	認定基本研修(1科目2時間)
1	【保育内容】保育指針・保育要領の理解(初級)
2	【保育内容】指導計画の理解と作成(初級)
3	児童虐待防止(初級)
4	障害児保育(初級)
5	保護者対応(初級)
6	防災
7	【健康・安全】保健・衛生関係
8	【健康・安全】事故防止
9	【健康・安全】給食・食事・アレルギー関係
10	人権保育

※認定選択研修は分野等の指定はなし。

認定研修Grade2

No	認定基本研修(1科目2時間)
1	【保育内容】保育指針・保育要領の理解(中級)
2	【保育内容】指導計画の理解と作成(中級)
3	児童虐待防止(中級)
4	障害児保育(中級)
5	保護者対応(中級)
6	保護者支援
7	乳児保育
8	表現活動
9	食育
10	人権保育

※認定選択研修は分野等の指定はなし。

認定保育士Grade3研修

No	科目(1科目6時間)
1	保育所保育指針(総論)
2	保育所保育指針(各論)
3	指導計画
4	児童虐待防止・対応
5	障害児保育
6	保護者支援と保護者対応
7	チームマネジメント力強化
8	コーチング
9	演習①(業務改善)
10	演習②(保護者対応)

※認定保育士Grade3研修については、全科目を県実施。

各Gradeの認定研修の目的について

Grade1(実務経験1～5年目を想定)

各科目の基本的な知識・スキルの習得。保育現場の基礎的な能力の養成。

Grade2(実務経験6～10年目を想定)

各科目の応用的な知識・スキルの習得。想定外の事態にも対応できるような対応力の養成。

Grade3(実務経験15年目以上を想定)

各科目のさらなる理解に加えて、主任保育士を補佐するための管理能力(リーダーシップ)の養成。

実施状況 (Grade3)

○演習例

<リーダーシップの研究>

リーダーシップの違いを考えてみましょう。

- (1)サッカー日本代表の監督と、草サッカー同好会の幹事
- (2)仲良しグループのリーダーと、軍隊の隊長
- (3)成績好調の営業所長と、成績不振の営業所長
- (4)事務職の職場管理者と危険作業を伴う職場の管理者

実施状況 (Grade3)



実施状況 (Grade3)

○受講者コメント

自分の市町村だけでなく、他市の先生方と交流でき、良い刺激となりました。研修のスタイルも、実技が多く、難しいと感じることもありましたが、楽しんで参加できました。(実務経験30年)

様々な内容の研修で、また講義を聴くだけでなく、グループで意見を出し合ったり、交流したりと毎回刺激あるものでした。(実務経験20年)

10回全て出席できた事を、園の他の職員に感謝します。10冊の資料は常にそばに置いておくつもりです。できる事なら、来年度もう1クール受講したい気持ちです。(実務経験23年)

実施状況 (Grade3)

○平成27年度(認定保育士Grade3研修のみ先行実施)

認定保育士Grade3研修(H28.1.6～H28.3.8)
延べ参加者 307人

○平成28年度

認定保育士Grade3研修(H28.7.30～H29.1.28)
延べ参加者 282人

○認定者:24人(H29.2.17時点)

実施状況 (Grade1・2)

○平成28年度

認定基本研修(Grade1)
延べ参加者 523人(5回)

認定基本研修(Grade2)
延べ参加者 497人(4回)

認定選択研修
延べ参加者 1,721人(7回)

今後の課題

○制度の認知度不足

研修要件などが複雑なこともあり、保育現場への浸透が足りていない。機会を見つけて説明を続けることで、制度の理解を図る。

○定着促進への効果について

制度により研修受講のモチベーション向上には繋がっているが、定着促進への効果は未知数。今後は認定者への聞き取り等による検証を行い、制度の改善に取り組む。